

News Release



2015年7月6日
SOL ASIA HOLDINGS PTE, LTD.

SOL ASIA HOLDINGS、 『フィリピン国際バイオマスカンファ レンス 2015』に参加いたしました

～フィリピン大学ロスバニョス校異業種間バイオ燃料研究センター設立記念にて講演～

SOL ASIA HOLDINGS PTE, LTD.（本社：Singapore 日本支社：東京都品川区、代表取締役社長 赤尾 伸悟、以下「当社」）は、2015年6月16日～18日まで開催されましたフィリピン国際バイオマスカンファレンス 2015に参加いたしました。この会議は、フィリピン大学ロスバニョス校異業種間バイオ燃料研究センター設立を記念して、農業省農業研究局、エネルギー省、環境資源省の協力関係の下開催されました。

当社は、2014年8月フィリピン共和国（以下「フィリピン」）セブ州で開催されましたサトウキビ業界の展示会“61st Philsutech Annual National Convention and Product Exhibition”に出展し、スーパーソルガムをエネルギー作物として紹介して以来、フィリピン西ネグロス州知事から直接同州への訪問依頼があるなど、本来同国はサトウキビが主要産業であるにも関わらず非常に高い関心を持っていただき、今回、西ネグロス州知事からのご紹介で、フィリピン大学ロスバニョス校で副校長のレックス教授を窓口として、試験栽培実施の計画が進行していました。

そのような状況の中、フィリピン大学ロスバニョス校 レックス教授は、このたびフィリピン大学ロスバニョス校異業種間バイオ燃料研究センターのセンター長に就任され、スーパーソルガムが、今後の西ネグロス州に限らずフィリピンでのバイオマス燃料に大きな影響を及ぼすであろうという観点から、当社に講演依頼がございました。

同講演は、フィリピン農業省農業研究局、エネルギー省、環境資源省等のほか、バイオマス燃料としての農業廃棄物（もみ殻等）の利用を目的としたペレットメーカーやバイオ発電メーカーが続き、第2世代エタノール製造を含む、エタノール製造プラントメーカーなどが行いました。バイオマス原料作物栽培という観点からは、当社のスーパーソルガムが唯一の講演となり盛況のうちに終了いたしました。

今後当社は、スーパーソルガムのフィリピンでの展開を戦略的に進める予定です。また私共は、フィリピンの農業従事者の生産性向上・所得の向上、並びに地域社会の雇用創出を目指し、皆様のご期待にお応えできるよう、鋭意努力して参ります。



フィリピン国際バイオマスカンファレンス 2015 会場



当社フィリピン担当者のプレゼンテーションの様子



当社フィリピン担当者のプレゼンテーションの様子



スーパーソルガムに関する質疑応答の様子





■ **会社概要 SOL ASIA HOLDINGS**

- ・ 商号 : SOL ASIA HOLDINGS PTE, LTD.
- ・ 所在地 : 11 COLLYER QUAY #11-05, THE ARCADE, SINGAPORE, 049317
日本支社 : 〒141-0001 東京都品川区北品川 5-9-15 渡辺コーポレーションビル
- ・ 代表者 : 代表取締役社長 赤尾 伸悟
- ・ 株主構成 : 株式会社 SOL Holdings (100%)
- ・ SOL ASIA HOLDINGS 公式 WEB サイト : <http://super-sorghum.jp>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

SOL ASIA HOLDINGS PTE, LTD.

Tel : 03-3449-3700

